

# 開催要項(御案内)

## 筑波大学附属久里浜特別支援学校 令和3年度 自閉症教育実践研究協議会

### 研究テーマ

知的障害を伴う自閉症のある幼児児童

一人一人の課題を踏まえた自立活動の実践

### 開催趣旨

現行の特別支援学校学習指導要領では、育成を目指す資質・能力の三つの柱に基づき、知的障害者である児童生徒に対する教育を行う特別支援学校の各教科の目標及び内容が、構造的に示されました。この改訂を受け、知的障害教育では各教科の指導の充実に取り組む学校が増え、その指導の在り方に注目が集まっています。それに併せて、各教科等の指導を通じて育成する資質・能力を支える役割を担う自立活動の指導や、各教科等を合わせた指導の大切さや有効性が見直され、各指導の改善・充実も図られています。

幼稚部と小学部を設置する本校では、とりわけ、幼児期～児童期という生活の基盤及び学習の基盤を形成する時期における自立活動の指導の重要性を再認識し、知的障害や自閉症を有する子供たちの発達の土台をしっかりとつくるという観点から、自立活動の指導の在り方を改めて見直し、その充実を図っているところです。

そこで、本研究協議会では、一人一人の異なる実態や教育的ニーズ等を有する子供に応じた自立活動の指導を適切に、かつ、有効に行うために、知的障害を伴う自閉症のある幼児児童を対象とする指導事例を3例（幼稚部年少児、小学部低学年児、同高学年児）提供し、自立活動の指導のより良い在り方を協議したいと考えています。子供の成長する様子を辿りながら、本校の実践について参会の皆様と意見交換させていただき、有意義な協議会となれば幸いです。多くの皆様のご参加をお待ちしております。



### 開催内容

1 期 日 令和3年12月3日(金)

2 場 所 オンライン

筑波大学附属久里浜特別支援学校(神奈川県横須賀市野比5丁目1番2号)

3 定 員 200名(先着順)

4 日 程

8:45

12:30

13:30

16:40

zoom 開室	研究会 開会式 研究概要 学校概要	事例発表① ● 幼稚部	休憩	ポスター発表	風食・休憩	事例発表② ● 小学部高学年	休憩	事例発表③ ● 小学部低学年	閉会式
8:45	9:00-10:00	10:00-11:20		11:30-12:30	12:30-13:30	13:30-14:50		15:00-16:20	16:20-16:30

## 事例発表

学部・学級	自立活動の実践報告内容
幼稚部 ひよこ組 (3歳児学級)	幼稚部ひよこ組では、「働き掛けている教師や教師が提示している物に気付きにくい」ことに課題のある幼児についての実践を報告します。本児が、教師からの働き掛けに気付いたり、自分から関わったりする力を身に付けるために自立活動の指導目標を立て、実践を積み重ねていきました。今回の事例発表では、日常生活の指導や遊びを通して、教師の関わり方や本児の変容についてまとめ、発表します。
小学部 2年生	本事例の対象児は、人とのやり取りが好きで、様々なことに興味を示す一方で、気になることがあると、やるべきことが手につかなくなり、周りからの働き掛けを受け入れることが難しくなることがある男児です。本事例では本児の自立活動の指導課題を整理し、本児が、「自ら進んで取り組みたい」と思って、様々な活動に最後まで意欲的に取り組むことを目標として取り組んできた指導について発表します。
小学部 5年生	自分のしたいことや気持ちを言葉で表現できるようになってきた一方で、相手の気持ちを考えたり、受け止めたりしながら、自分のしたいことや思っていることを伝えたり、教師や友達と一緒に活動したりすることに課題のある児童への実践について報告します。友達と協力しながら行うゲーム遊び、時間における自立活動の指導、日常生活の指導などの取組から、教師や友達との関わり方の変化や本児の変容についてまとめ、発表します。

## ポスター発表（前半 11：30～，後半 12：00～）

8本のポスターを発表します。本校の幼児・児童一人一人の実態に合わせた教材・教具や授業実践、寄宿舎等の取組など、多様な実践を報告します。参加者の皆様と、活発に協議をしたり、情報交換をしたりして、それぞれの実践を深める場としたいと思います。

教材・教具を活用した指導事例  
「数を数える指導」 幼稚部りす組

「大型絵本を使った朝の会の取組」  
幼稚部うさぎ組

教材・教具を活用した指導事例  
「スカーフを使った音楽の指導」 小学部1年

「楽しく体を動かす朝の運動の取組」  
小学部3年

「コミュニケーションツールを使った  
伝える力を高める指導」小学部4年

教材・教具を活用した指導事例  
「手洗い指導」 小学部6年

「生活する力を育む指導」  
寄宿舎

「小学部4年生寄宿舎生の指導事例」  
寄宿舎、小学部主事

## 指導助言者の紹介

今回、3名の先生方に指導助言をいただきます。幼児教育の視点から国立特別支援教育総合研究所の久保山茂樹先生、応用行動分析の視点から筑波大学の野呂文行先生、コミュニケーション支援の視点から国立特別支援教育総合研究所の青木高光先生にお願いし、指導事例を掘り下げます。



国立特別支援教育  
総合研究所  
上席総括研究員  
久保山 茂樹 先生



筑波大学  
人間系教授  
野呂 文行 先生



国立特別支援教育  
総合研究所  
主任研究員  
青木 高光 先生

# 参加申込み

## 1 申込み手順

- ① 本校ホームページから、参加申込の Google フォームにアクセスしてください。
- ② 必要事項を御記入ください。
- ③ Eメールで参加受付と参加費の振込先をお知らせしますので、参加費をお振込みください。
- ④ Eメールで参加費振り込み完了と接続先をお知らせします。

## 2 申込み期間

- ・令和3年9月8日（水）～11月19日（金）
- ・定員になり次第、締め切ります。

## 3 参加定員

200名（申込み先着順）

## 4 参加費

- 1人で御参加 2,000円
  
- グループで御参加 3,000円

### 問い合わせ先

筑波大学附属久里浜特別支援学校自閉症教育実践研究協議会を推進する会 総務係（齋藤）

〒239-0841 神奈川県横須賀市野比5丁目1番2号 TEL: 046-848-3444 FAX: 046-848-3740

e-mail: [jik-uketsuke@kurihama.tsukuba.ac.jp](mailto:jik-uketsuke@kurihama.tsukuba.ac.jp) URL: <http://www.kurihama.tsukuba.ac.jp>